

各国のエンジニア資格との比較表

(別紙1)

NO	項目	日本	米国	カナダ	台湾	インド	インドネシア	
1	資格名称	技術士	PE	P.Eng. / ing.	技師(PE)	CE,PE, IntPE	PE	
2	資格付与機関	文部科学省	PE Board of State(州PE評議会)	State institute of engineers(州技術者団体)	行政院公共工程委員會及考試院考選部	IEI(インド・エンジニア協会)	PII(インドネシア・エンジニア協会)	
3	資格の法的根拠	技術士法	州法	州法	1.技師法 2.専門職業及技術人員高等考試技師考試規則	Royal charter for IEI	Engineer Law	
4	技術部門数	21(96科目)	24	無し(部門ごとの資格ではないため)	32	15(CE)、15(PE, IntPE(10))	22(?)	
5	資格に関する数値	登録者総数	89,780(2018)	約820,000	203,566(2016)	24,643(2018.7.24)	会員 205,000	約30,150(2018)
		受験者数	26,253(2017)	30,000	N/A	10,297(2017)		約10,000(?)
		合格率	13.3%(2017)	約60%(PE試験)	N/A	15.31%(2017)		約40%(?)
		合格平均年齢	43(2017)	24-28	N/A	29.71歳(2017)		30-60
	年間登録者数	2,642(2017)	20,000-25,000	12,831(2016)	952(2017合格者)		1,774(2017)	
6	認定(試験)機関	文部科学省(実施:日本技術士会)	NCEES(FE,PE試験の試験実施機関)	州技術者団体	考試院考選部(資格証明) 行政院公共工程委員會(登録)	IEI	PII Discipline Chapters and HKK (Asscitiation of Engineering Experts)	
7	資格要件	卒業要件等	一次試験合格、JABEE	ABET認定課程(4年)+FE試験	Engineers Canada認定課程(4年)若しくは同等の教育	専科以上 工程相關科系	工学系大学(4年間)	大卒(4年間のエンジニアリング課程)
		経験年数	4年~7年	FE試験合格後4年	4年(1年はP.Eng.監督下)	試験合格後2年以上の業務経験	7年(うち2年以上は責任ある立場での業務経験)(PE,IntPE)	8-10年
		その他		保証人5名(うち3名はPE)の保証書の提出	保証人 最低3名	無し	保証人2名(親展推薦書の提出)	PII Profesional Engineer Competence Standard
8	認定(試験)方法	実績評価	無し	登録の際に詳細な成績証明と業務履歴を提出	詳細業務履歴書	書面及法院公證	業務履歴書+自己評価書(複合的な問題の解決を含む)(PE,IntPE)	職歴ポートフォリオ(FAIP)
		筆記	記述	FE,PE試験	エンジニアリングに関する法律と倫理についての選択式及び記述式の試験	高等考試(筆記 10時間)	択一(一般科目、専門科目)	いくつかの部門で有り
		面接	20分	一般的には無いが、必要とされる場合がある	必要に応じ	無し	IntPEのみ有り	職歴(FAIP)評価に基づく
9	IPD	呼称	技術士補	EIT	Engineer in training / Engineering intern / EIT / ing. Junior	PE (Certificate)	Engineer or IPP (Assistant PE)	
		研修制度	無し	無し	EITプログラム(任意)	無し	CPD 75credits/5yrs	職歴の記録
10	登録	機関	日本技術士会	PE Board of State(州PE評議会)	州技術者団体	行政院公共工程委員會	IEI	PII
		名簿の公開	無し	検索システム	検索システム	2 years plus passing exam		5年
11	更新制度	期間	無し	2年	1年	6年	5年(PE, IntPE)	5年
		更新研修等	無し	無し	無し	無し		職歴の記録とCPD
		CPD	無し	15 PDH/yr audit有	8州では義務化 4州では任意	30 CPD hrs(倫理含む)、隔年報告	125credits(PE)、250credits(IntPE) /5years	資格要件
12	協会への加入	団体名	日本技術士会	NSPE	州技術者団体	技師公會及びCIE(Chinese Institute of Engineers)	IEI	PII
		加入義務	任意	任意	資格要件	技師公會への加入が要件 CIEへの加入は任意	資格要件	あり
		年会費	2万円	約200\$/yr	248.6\$/yr (Ontario)~600\$/yr (Saskatchewan)	2,000-7,000 NT\$(技師公會) 700 NT\$(CIE)	Rs 177,000 (Institutional Member)、Rs 12,980 (Fellow member)、Rs 4,897 (Member)	300,000ルピア/年
		会員数	約15,000	約31,000	203,566(2016)	5,543(CIE 会費納入会員2018)	約 200,000 (Corporate Members) & 600,000 (Non-Corporate members)	(2000)
13	資格の活用度	一部(建設など)は準独占	業務独占(PEは設計図書を確認及び押印し、その仕事に対して責任を持つ。)	業務独占	設計図書には工程技師の署名押印が必須		公共事業、国際援助事業に必要	
14	社会の認知度	低い	世界的に認知されている	低い	中程度/高い	高い認知度	認知されている	
15	IEA協定加盟	WA、APEC、IPEA	APEC、IPEA	WA、APEC、IPEA	WA、APEC、IPEA	IPEA	APEC	
16	二国間相互認証協定	日本との間	N/A	無し	無し	無し	無し	無し
		他国との間	豪州(活用実績1件)	テキサス州:豪州,韓国,NAFTA(Temporary)	米国(ネバダ州,テキサス州),アイルランド, オーストラリア, 香港, フランス	マレーシア		ASEAN
17	その他				出典:106考選統計年報、中國工程師学会サイト、現地情報	CEはIEICorporate memberに付与される称号		

※各国とも、2018年8月時点の情報である。

※元資料は日本技術士会の技術士制度検討委員会作成。その後、IEA会合にて文部科学省により各国への調査を実施し、最終版を作成した。その他資料の出典等、詳細は別紙2に記載。

※PE:Professional Engineer IPD:Initial Professional Development EIT:Engineer in training PDH:Professional Development Hours CE:Chartered Engineer NCEES:全米試験協議会 IEA:国際エンジニアリング連盟 WA:ワシントン協定 APEC:APECエンジニア協定 IPEA:国際プロフェッショナル・エンジニア協定